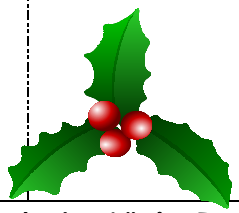
みなとのたより らしく

湊小学校通信



Ｒ４．１２．２１

NO．９

文責：音喜多・権代

☆朝の交通安全街頭指導へのご協力ありがとうございます！☆

１２月に入り雪が降り寒さも厳しくなってきましたが、子どもたちには元気のいいあいさつをして登校できるように励ましています。

さて、保護者や地域の皆様には、日頃より子どもたちの安全な登校を見守るため、朝の街頭指導にご協力いただき感謝申し上げます。朝の寒い中ですが、参加していただける方が徐々に増えてきております。本当に感謝申し上げます。降雪や凍結等による危険を回避し、子どもたちが安全に登校できるように今後もご協力をお願いします。

☆ 実りの２学期 ☆

令和４年度２学期がまもなく終了となります。今学期は学校目標「つみかさねる力の育成」に向けて３つの目標「努力を続ける」「みんなのために」「なかよく」に向かって取り組んできました。振り返ってみると、修学旅行では１泊２日での実施ながらも、あいさつや返事等、湊の子の良さが発揮されました。ポプラ祭りでは、ステージ発表や合唱に加え、３年ぶりに夜の部を行い、燃え上がる炎に感動しました。体力づくりでは、朝のポプラマラソンや休み時間でのがんばりもみられるようになり、多くの子どもが２００周を達成し、マラソン大会でその成果を発揮することができました。このような成果が見られたのも、ひとえに保護者や地域の皆様のご理解やご協力があり、子どもたちのより良い成長につながりました。大変感謝申し上げます。

お正月の準備

さて、先日の全校朝会で、「お正月の準備」について次のようなお話をしました。

『お正月は、「年神様」を迎える準備です。「年神様」とは一年の初めにそれぞれの家にやってきて、その家族がみんな元気で暮らせることを叶えてくれる神様と言われています。お正月の準備は、その年神様を迎える準備なのです。まず、大掃除をします。そして、門松、しめ飾り、鏡餅、おせち料理などを用意して、神様を迎える準備が整ったことを知らせます。門松は、神様が下界に下りてくる目印で、家に邪気が入らないように立てていると言われています。

「大掃除」についてもう少し詳しく話します。初めは「すすはらい」と言われていました。昔は、ろうそくや炭や薪を使って生活していたので、家中がすすだらけだったのです。すすはらいは、なんと室町時代（約１０００年前）から行われていました。１２月１３日にすすはらいをするようになったのは、江戸時代からだそうです。江戸時代の人は、大掃除をして、一年の汚れを落とし、厄を落とし、心の汚れも落としました。家も体も心もきれい清めて、神様をお迎えしたのです。年末に大掃除をするのは、こんな意味があるのです。来年も湊小学校に、年神様が来てくれるといいですね。』

湊小学校でも大清掃がありました。どの清掃場所でも、子どもたちは、一生懸命心を込めて汚れを落とそうと働いていました。子どもたちの働きを見て、令和５年も湊小学校に年神様がきてくれるように願っています。

2023年は「卯（うさぎ）年」

「卯」は「春の訪れを感じる」という意味で、門が開いている様子を連想させることから「門が開き飛び出る」という意味があるそうです。「これまでの努力が実り始める」縁起の良い一年となることを祈っております。

２４日からは、子どもたちの楽しみにしている冬休みが始まります。保護者や地域の皆様には何かと慌ただしい年末となりますが、子どもたちには、そうじやお手伝い等に取り組ませ、家族の一員として認め、ほめる機会を作ってほしいと思います。事故や非行等のない、実りある休みとなるようご配慮お願いします。どうぞよいお年をお迎えください。